

科目名 Course Name	ICDコーディング International Classification of Diseases Coding				ナンバリング No.	D1-103	
年次	1 年	期別	通年	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	遠山 今日子						
連絡方法	C-Learning で対応。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と 到達目標	概要:我が国のIT化に伴い、全国の病院も電子化され包括医療・DPC を取り入れている。DPC に欠かさない、ICD コーディングの基礎と ICD-10 国際疾病分類の習得を図る。 目標:①ICD-10に関するコーディングの基礎知識を習得し疾病分類ができるようにする。 ②DPC 算定によるICDコーディングの必要性を説明できるようにする。 ③病名以外の記載内容を理解し分類ができるようにする。						
授業の方法	PCの操作を学習しながら、ICDの概要を理解し、様々な疾患についての事例検討・演習問題をグループワークなどで繰り返し行うことによって、コーディングの習得方法を図る。						
学習成果	L01	世界保健機関(WHO)による疾病分類をすることができる。					
	L02	学内ICDコーディング認定試験に合格できる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	テストの結果を返却し、必要に応じて解説を行う。						
教科書／ 参考図書	ICD コーディング基本テキスト・ICD コーディング応用テキスト						
履修上の留意点 やルール等	●演習問題が中心となる。PC操作がスムーズにできるよう基本を理解すること。学内ICDコーディング認定試験を受験する場合は必ず履修すること。●事前・事後学習に費やすべき目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験	実務経験(職種:医療法人理事、受付事務補佐 職歴:通算 10 年) 医療事務の経験を、ICD コーディングについて説明する際に活かす。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	基礎知識・演習を理解している。授業に集中して取り組んでいる。	20					
レポート／作品	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。	10					
発表							
小テスト	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。	10					
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。	50					
その他	検定試験の可否により加点する。		10				
合 計		90	10				

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明・評価方法に関する説明・PC操作について
	事前・事後学習	（事前）テキスト「はじめに」「ICDの沿革」を読んてくる。 （事後）ICDコーディングについて理解する。PC操作を練習する。
2	授業内容	STEP1 1.コードとは～7.索引表について
	事前・事後学習	（事前）STEP1 1.コードとは～7.索引表についてを読んてくる。 （事後）コードブックの操作の仕方を学習する。
3	授業内容	STEP1 8.内容例示表について～10.コーディングの例題
	事前・事後学習	（事前）STEP1 8.内容例示表について～10.コーディングの例題を読んてくる。 （事後）例題を通して学んだコーディングの方法が身につくように練習する。
4	授業内容	STEP2 1.注釈の意味～3.略語「NEC」の意味について
	事前・事後学習	（事前）STEP2 1.注釈の意味～3.略語「NEC」の意味についてを読んてくる。 （事後）様々な注釈の内容を理解し、略語の意味についても学習する。
5	授業内容	STEP2 4.「:」等の記号の意味～5. 記号「[]」「. -」の意味
	事前・事後学習	（事前）STEP2 4.「:」等の記号の意味～5. 記号「[]」「. -」の意味を読んてくる。 （事後）種々の記号の意味や使い分けについて学習する。
6	授業内容	STEP2 6.「包含」「除外」の意味、7. 相互参照「～を参照」「～も参照」の意味
	事前・事後学習	（事前）STEP2 6.「包含」「除外」の意味、7. 相互参照「～を参照」「～も参照」の意味を読んてくる。 （事後）「v包含」「除外」の意味や相互参照の意味を理解しながらコーディングの仕方を学ぶ。
7	授業内容	STEP2 8.関連用語について
	事前・事後学習	（事前）STEP2 8.関連用語についてを読んてくる。 （事後）様々な関連用語の意味を理解し、適切にコード付けをする方法を学習する。
8	授業内容	STEP3 1.単一コード、複合コード
	事前・事後学習	（事前）STEP3 1.単一コード、複合コードを読んてくる。 （事後）単一コードと複合コードの違いについて学習する。
9	授業内容	STEP3 2.ダブルコード、多発病態コード
	事前・事後学習	（事前）STEP3 2.ダブルコード、多発病態コードを読んてくる。 （事後）ダブルコード・多発病態コードの違いについて学習する。
10	授業内容	STEP3 3.任意的追加コードの取り扱い、4. 病名が急性と慢性の両方を含む場合
	事前・事後学習	（事前）STEP3 3.任意的追加コードの取り扱い、4. 病名が急性と慢性の両方を含む場合を読んてくる。 （事後）任意的追加コードの取り扱い方、急性のみ・慢性のみ・両方を含む場合のコーディング方法を理解する。
11	授業内容	STEP3 5.続発・後遺症のコード化～7.術後の病態および合併症のコード化
	事前・事後学習	（事前）STEP3 5.続発・後遺症のコード化～7.術後の病態および合併症のコード化を読んてくる。 （事後）術後の合併症や後遺症の病名の分類方法を学習する
12	授業内容	STEP4 1.新生物のコード化
	事前・事後学習	（事前）STEP4 1.新生物のコード化を読んてくる。 （事後）新生物のコーディング方法を理解する。
13	授業内容	STEP4 2.Zコード～5.薬物および外因コード
	事前・事後学習	（事前）STEP4 2.Zコード～5.薬物および外因コードを読んてくる。 （事後）Zコード、産科関連コード、新生児関連コード、薬物及び外因コードについて理解する。

14	授業内容	授業の総復習、演習問題
	事前・事後学習	（事前） 学習した内容についてわからない点を質問できるように準備する。 （事後） 授業で学んだ内容を復習する。
15	授業内容	授業の総復習、演習問題
	事前・事後学習	（事前）（事前） 学習した内容についてわからない点を質問できるように準備する。 （事後） 授業で学んだ内容を復習する。
16	授業内容	感染症及び寄生虫症・新生物のコード化
	事前・事後学習	（事前） テキスト 9～19 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 1,2 の練習
17	授業内容	血液・免疫疾患・内分泌疾患のコード化
	事前・事後学習	（事前） テキスト 21～28 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 3,4 の練習
18	授業内容	精神及び神経系疾患のコード化
	事前・事後学習	（事前） テキスト 31～39 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 5,6 の演習
19	授業内容	手術処置に関連するコーディングの解説
	事前・事後学習	（事前） テキスト 117～121 ページを読んでくる。 （事後） 処置分類の方法について学習
20	授業内容	手術処置のコーディング演習（小テスト①）
	事前・事後学習	（事前） テキスト 121～129 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 20, 21 の練習
21	授業内容	眼・耳の疾患のコード化、循環器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	（事前） テキスト 43～50 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題7, 8 の練習
22	授業内容	呼吸器系及び消化器系疾患のコード化、
	事前・事後学習	（事前） テキスト 53～64 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 9, 10 の練習
23	授業内容	皮膚・筋骨格系の疾患のコード化
	事前・事後学習	（事前） テキスト 67～72 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 11, 12 の練習
24	授業内容	腎尿路生殖器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	（事前） テキスト 77～78 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 13 の練習
25	授業内容	妊娠・分娩・産褥に関するコーディング(小テスト②)
	事前・事後学習	（事前） テキスト 81～88 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 14 の練習
26	授業内容	周産期、先天奇形、変形、染色体異常に関するコーディング
	事前・事後学習	（事前） テキスト 91～98 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 15, 16 の練習
27	授業内容	症状、徴候および異常所見、損傷・中毒に関するコーディング
	事前・事後学習	（事前） テキスト 101～105 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 17, 18 の練習
28	授業内容	傷病および死亡の外因、特殊目的用コードなどに関するコーディング
	事前・事後学習	（事前） テキスト 109～113 ページを読んでくる。 （事後） 演習問題 19 の練習
29	授業内容	授業の総復習、演習問題
	事前・事後学習	（事前） 学習した内容についてわからない点を質問できるように準備する。 （事後） 授業で学んだ内容を復習する。

30	授業内容	授業の総復習、演習問題
	事前・事後学習	（事前） 学習した内容についてわからない点を質問できるように準備する。 （事後） 授業で学んだ内容を復習する。